

在宅介護実態調査報告書

令和2年6月

府中市

目次

第1章 在宅介護実態調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
5. 要介護者の属性.....	2
第2章 在宅介護実態調査の結果	3
1. A票調査結果.....	3
(1) 世帯類型.....	3
(2) 介護の頻度の状況.....	3
(3) 主な介護者の状況.....	4
(4) 主な介護者の性別.....	4
(5) 主な介護者の年齢.....	5
(6) 主な介護者が行っている介護等.....	6
(7) 介護を理由に退職した介護者の有無.....	7
(8) 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス.....	8
(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	9
(10) 施設等への入所・入居の検討状況.....	10
(11) 現在抱えている傷病.....	11
(12) 訪問診療の利用状況.....	12
(13) 介護保険サービスの利用状況.....	12
(14) 介護保険サービスを利用していない理由.....	13
2. B票調査結果.....	14
(1) 主な介護者の現在の勤務形態.....	14
(2) 主な介護者が行っている働き方の調整等.....	14
(3) 仕事と介護の両立に効果があると思う支援.....	15
(4) 今後の就労継続見込み.....	16
(5) 主な介護者が不安に感じる介護等.....	17
第3章 調査から見える課題	18
1. 集計分析について.....	18
(1) 集計分析方法.....	18
(2) 用語の定義.....	18
2. 要介護者の在宅生活の継続について.....	19
(1) 世帯類型別・施設等検討.....	19
(2) 要介護度別の介護者が不安に感じる介護.....	20
(3) 要介護度別のサービス利用の組み合わせ.....	21

(4) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）	22
3. 介護者の就労継続について.....	23
(1) 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）	23
(2) 就労状況別・介護のための働き方の調整.....	24
4. 保険外の支援・サービスについて.....	25
(1) 世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況.....	25
(2) 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	26
(3) 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	27
5. 世帯類型別の支援・サービスについて.....	28
(1) 世帯類型別・要介護度.....	28
(2) 世帯類型別・家族等による介護の頻度.....	29
6. 訪問診療の利用状況.....	30
(1) 要介護度別・訪問診療の利用割合.....	30

第1章 在宅介護実態調査の概要

1. 調査の目的

主として、「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討するための基礎資料を得ることを目的とします。

2. 調査の設計

調査内容	国が示した「在宅介護実態調査票」に基づき作成 A票：ご本人向け 問1～問14 B票：主な介護者向け 問1～問5
調査対象者	期間内に要支援・要介護認定の更新・区分変更申請に伴う認定調査を行った、居宅にお住まいの方(施設・居住系、入院を除く)
調査手法	認定調査員による聞き取り調査
調査の期間	平成31年2月1日～令和2年3月31日(14か月)

3. 回収結果

本調査の回答数は以下のとおりです。

回収数(人)
594

4. 報告書の見方

グラフの表記について	グラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。 複数回答の項目は、回答の%の合計が100%を超えています。 グラフ内及びグラフ付近にある「n=***」は、パーセントを算出する母数を意味します。
------------	---

5. 要介護者の属性

年齢		65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	100歳以上	合計
男性	人	6	6	14	21	33	54	26	5	0	165
	%	3.6	3.6	8.5	12.7	20	32.7	15.8	3	0	100
女性	人	5	10	14	43	74	124	117	38	4	429
	%	1.2	2.3	3.3	10	17.2	28.9	27.3	8.9	0.9	100
合計	人	11	16	28	64	107	178	143	43	4	594
	%	1.9	2.7	4.7	10.8	18	30	24.1	7.2	0.7	100

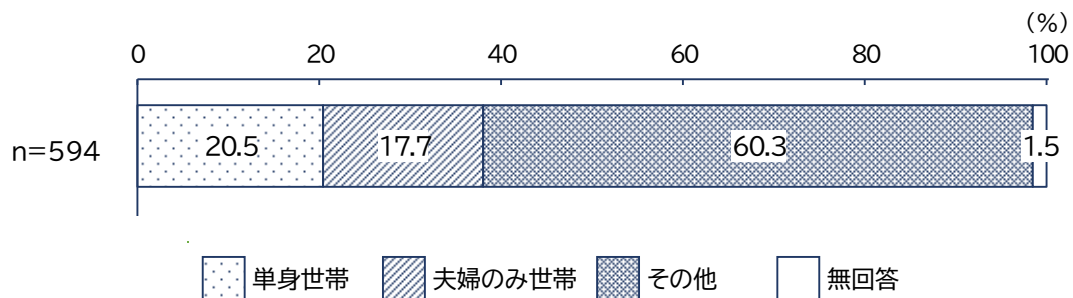
第2章 在宅介護実態調査の結果

1. A票調査結果

(1) 世帯類型

世帯類型の割合をみると、「単身世帯」が20.5%、「夫婦のみ世帯」が17.7%となっています。

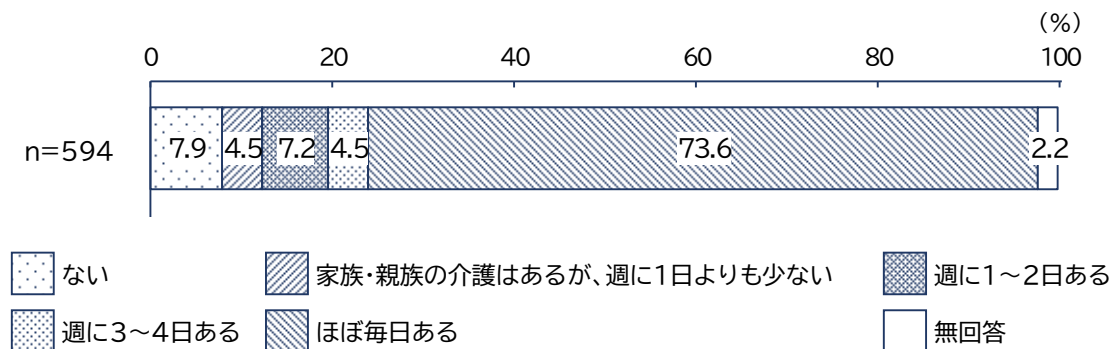
図 2-1-1 世帯類型



(2) 介護の頻度の状況

家族や親族からの介護の頻度の割合をみると「ほぼ毎日ある」が73.6%と最も高く、次いで「ない」(7.9%)、「週に1～2日ある」(7.2%)となっています。

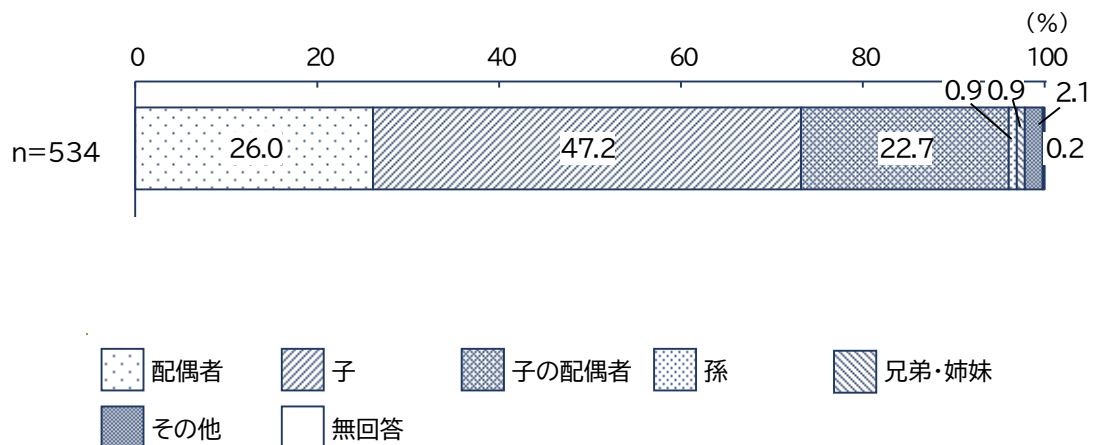
図 2-1-2 介護の頻度の状況



(3) 主な介護者の状況

主な介護者の割合をみると「子」が47.2%と最も高く、次いで「配偶者」(26.0%)、「子の配偶者」(22.7%)となっています。

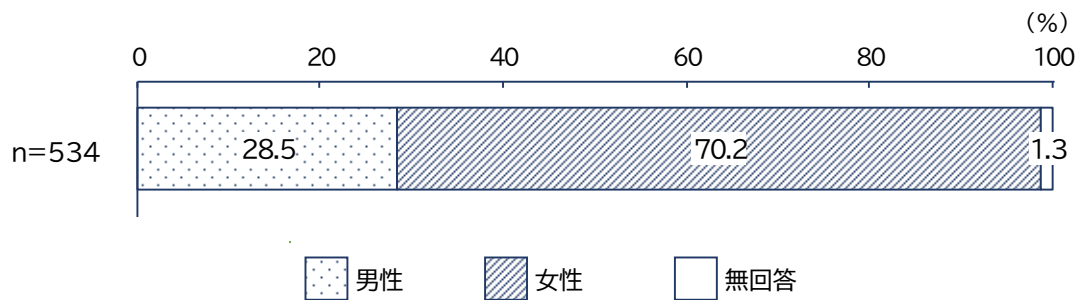
図 2-1-3 主な介護者の状況



(4) 主な介護者の性別

主な介護者の性別の割合をみると、「女性」70.2%、「男性」が28.5%となっています。

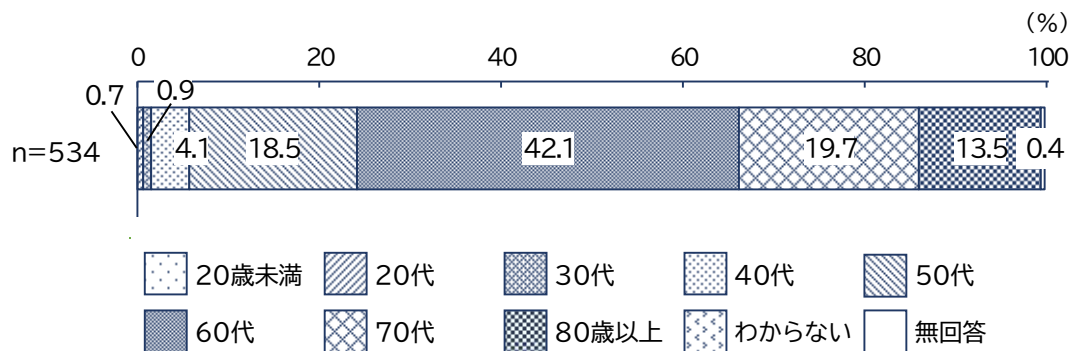
図 2-1-4 主な介護者の性別



(5) 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢の割合をみると「60代」が42.1%と最も高く、次いで「70代」（19.7%）、「50代」（18.5%）となっています。

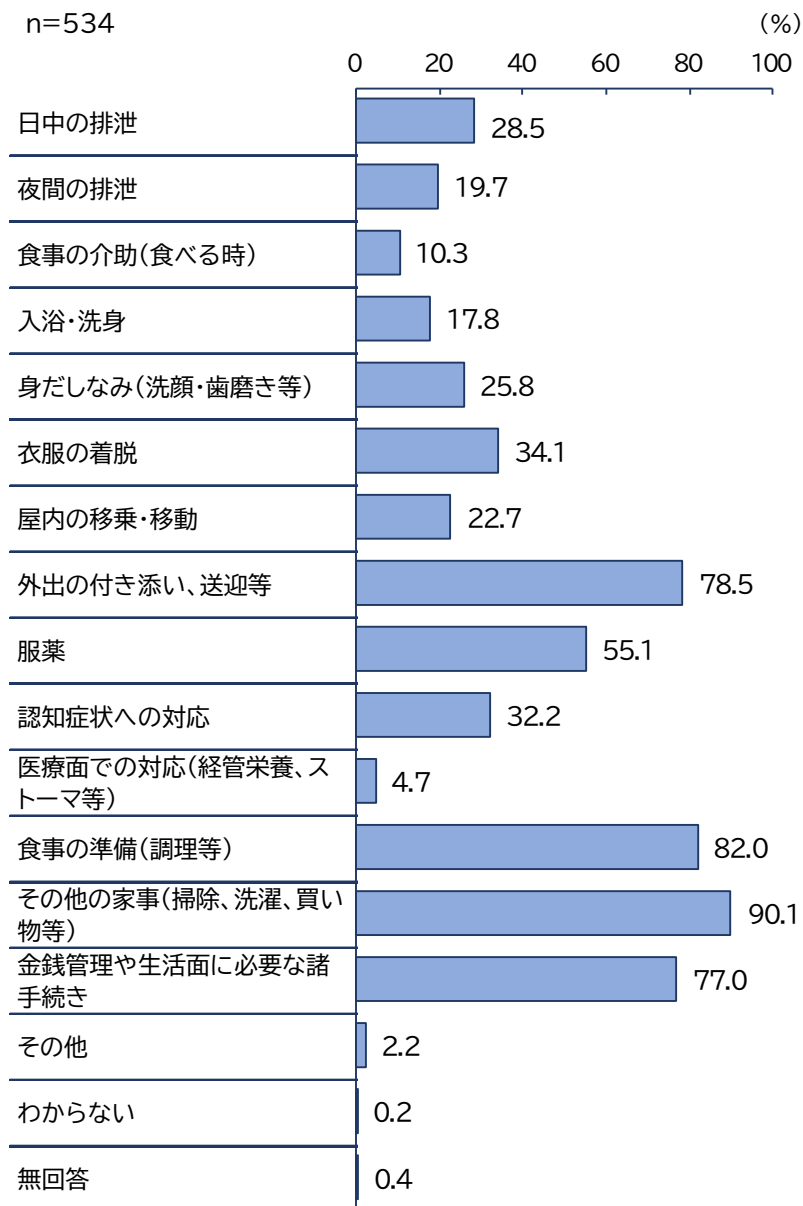
図 2-1-5 主な介護者の年齢



(6) 主な介護者が行っている介護等

主な介護者が行っている介護等の割合をみると「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が90.1%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」（82.0%）、「外出の付き添い、送迎等」（78.5%）となっています。

図 2-1-6 主な介護者が行っている介護等

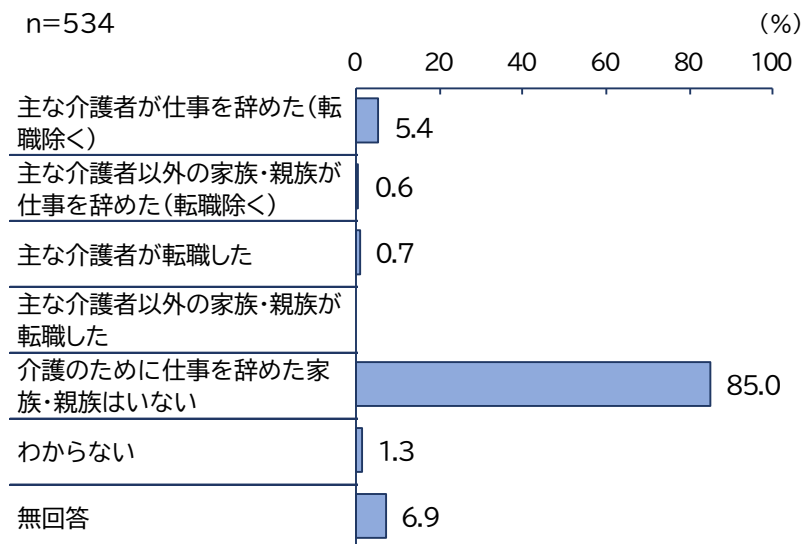


(7) 介護を理由に退職した介護者の有無

過去1年間に介護を理由に退職した介護者の有無の割合をみると「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が85.0%と最も高くなっています。

「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」と回答した方は5.4%となっています。

図 2-1-7 介護を理由に退職した介護者の有無

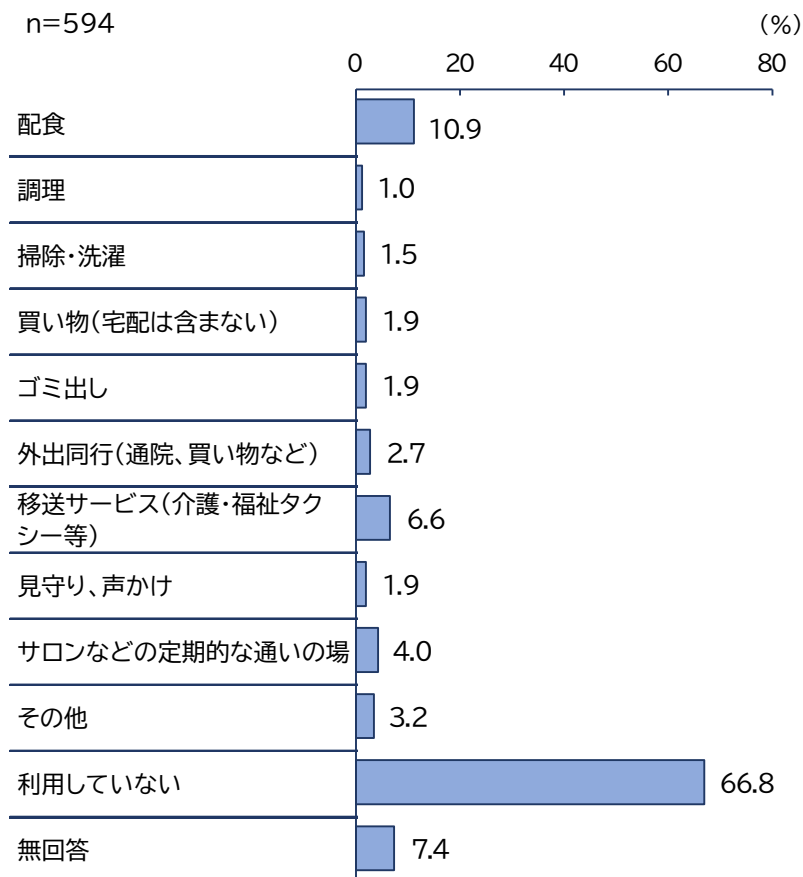


(8) 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスの割合をみると「配食」が10.9%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（6.6%）、「サロンなどの定期的な通いの場」（4.0%）となっています。

「利用していない」と回答した方は66.8%となっています。

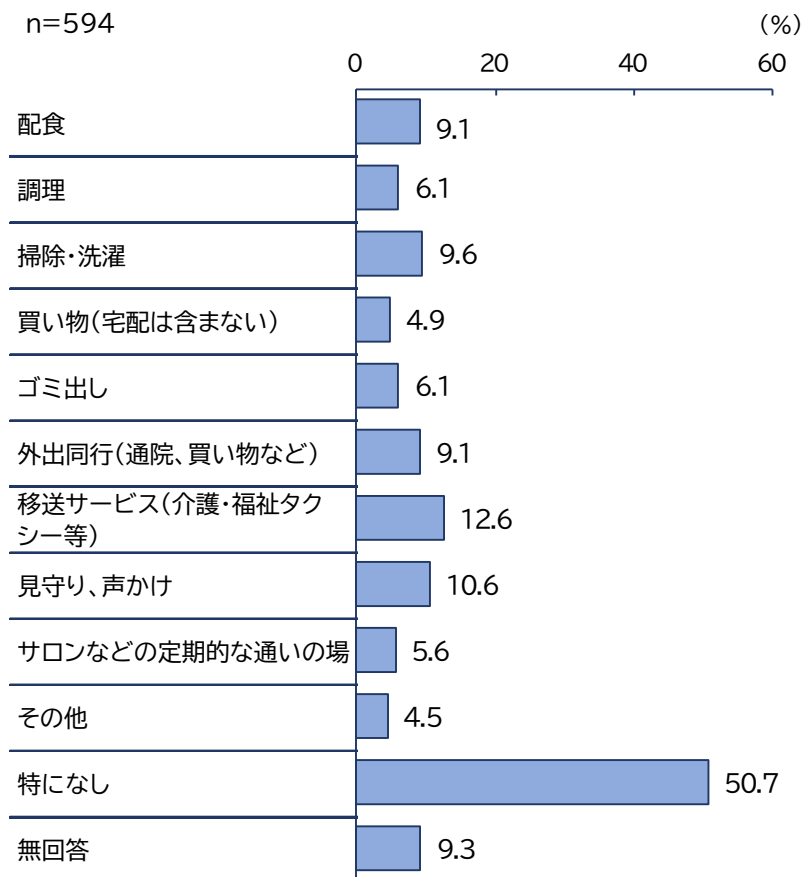
図 2-1-8 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス



(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの割合をみると「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が12.6%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」（10.6%）、「掃除・洗濯」（9.6%）となっています。

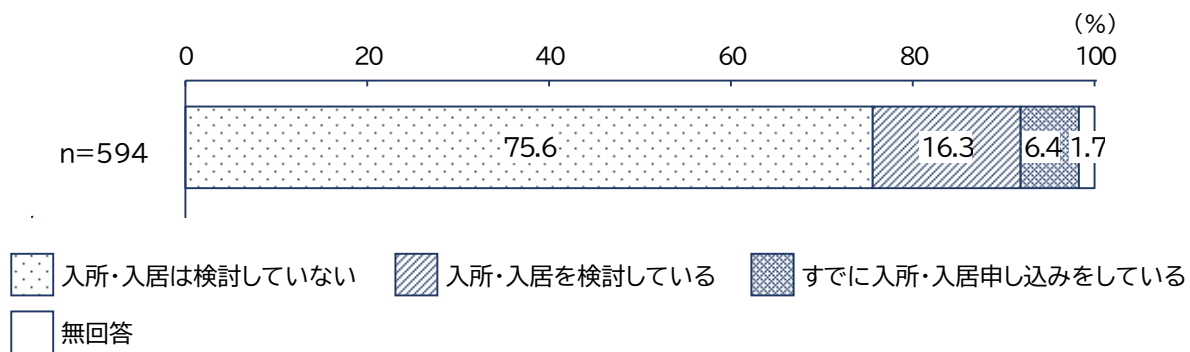
図 2-1-9 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(10) 施設等への入所・入居の検討状況

現時点での施設等への入所・入居の検討状況の割合は全体で見ると「入所・入居は検討していない」が75.6%となっています。「入所・入居を検討している」は16.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は6.4%となっています。

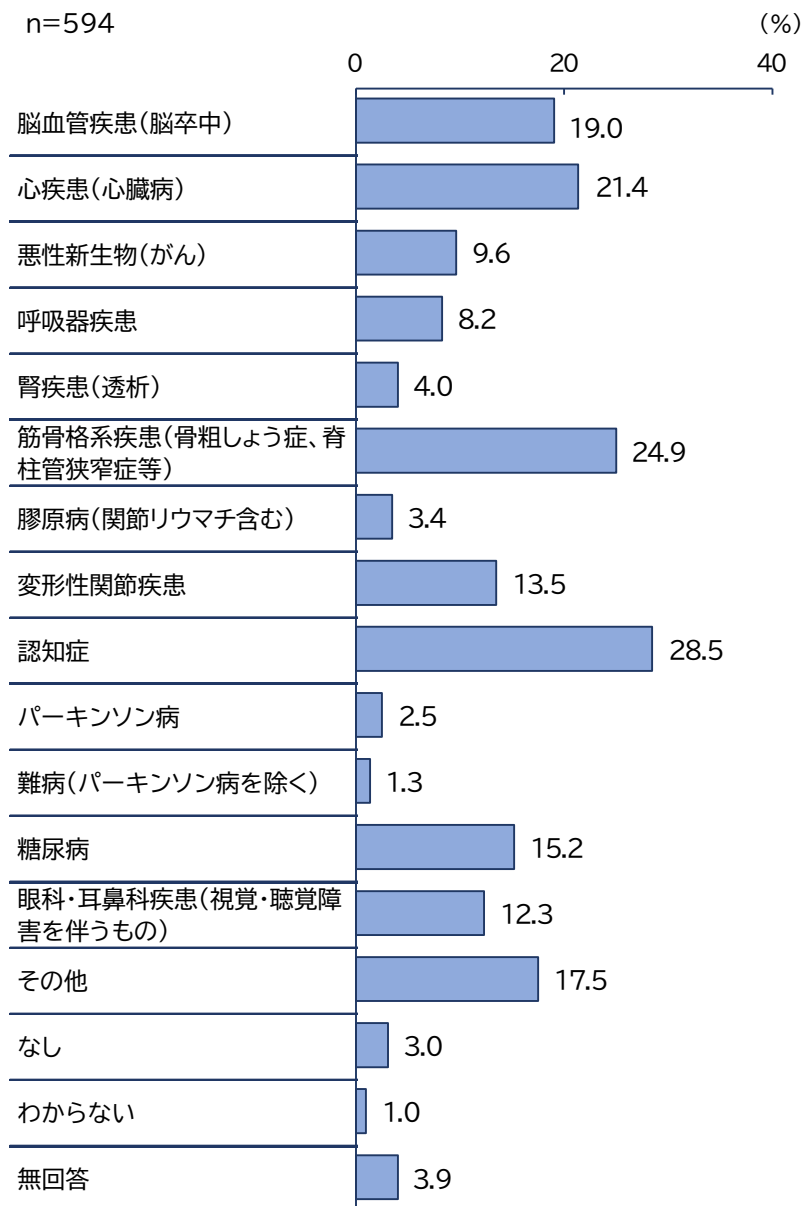
図 2-1-10 施設等への入所・入居の検討状況について



(11) 現在抱えている傷病

要介護者が現在抱えている傷病の割合をみると「認知症」が28.5%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（24.9%）、「心疾患（心臓病）」（21.4%）となっています。

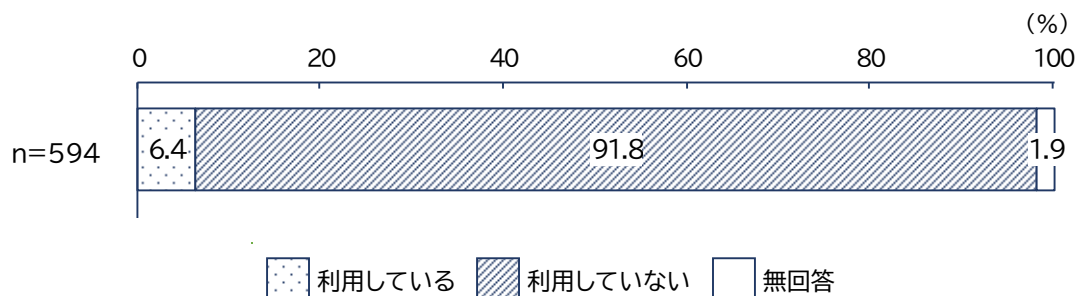
図 2-1-11 現在抱えている傷病



(12) 訪問診療の利用状況

訪問診療の利用状況の割合をみると、「利用している」は6.4%になります。

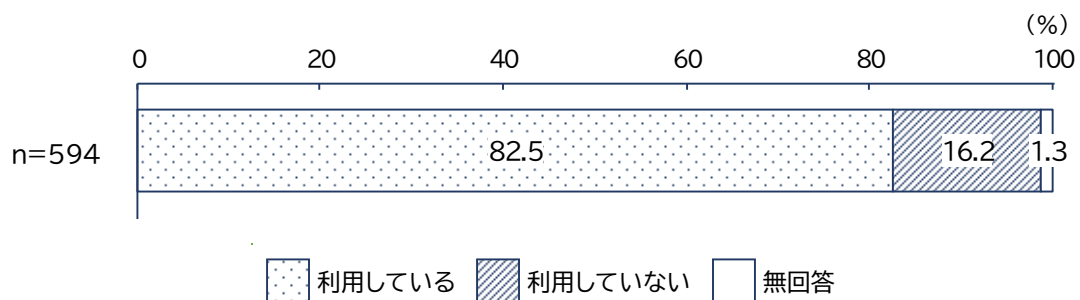
図 2-1-12 訪問診療の利用状況



(13) 介護保険サービスの利用状況

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況の割合をみると「利用していない」は16.2%になります。

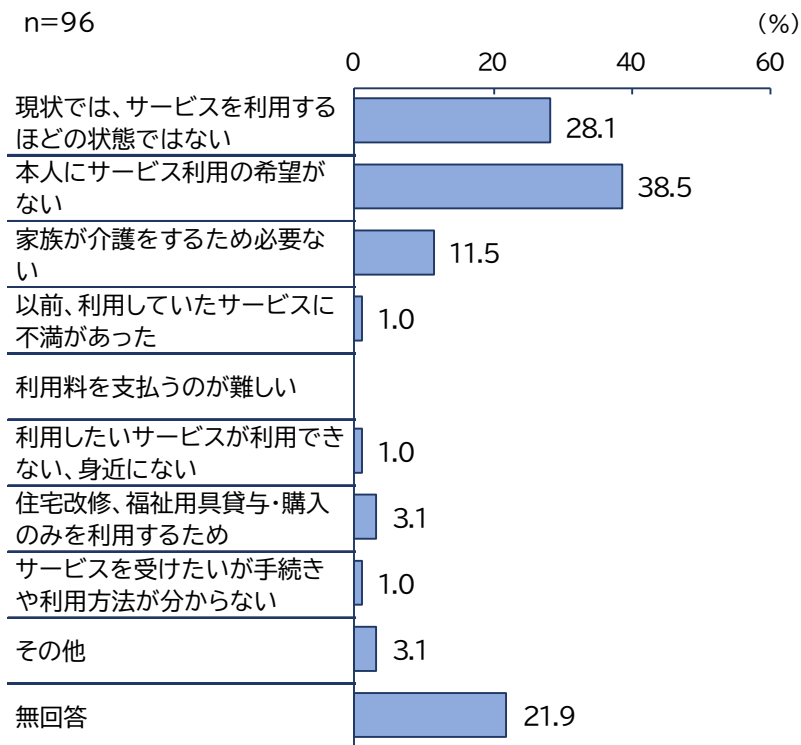
図 2-1-13 介護保険サービスの利用状況



(14) 介護保険サービスを利用していない理由

介護保険サービスを利用していない理由の割合をみると「本人にサービス利用の希望がない」が38.5%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(28.1%)、「家族が介護をするため必要ない」(11.5%)となっています。

図 2-1-14 介護保険サービスを利用していない理由

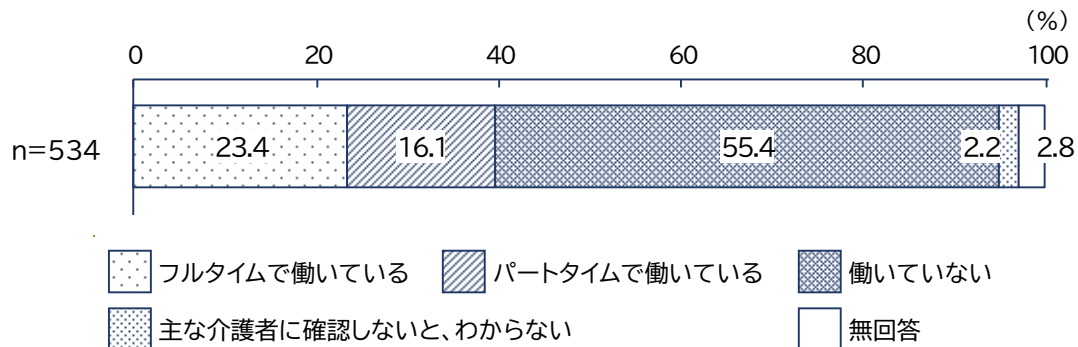


2. B票調査結果

(1) 主な介護者の現在の勤務形態

主な介護者の現在の勤務形態の割合をみると、「フルタイムで働いている」が23.4%、「パートタイムで働いている」が16.1%で、就労している介護者の割合は全体で39.5%となっています。就労していない介護者（「働いてない」と回答）は55.4%となっています。

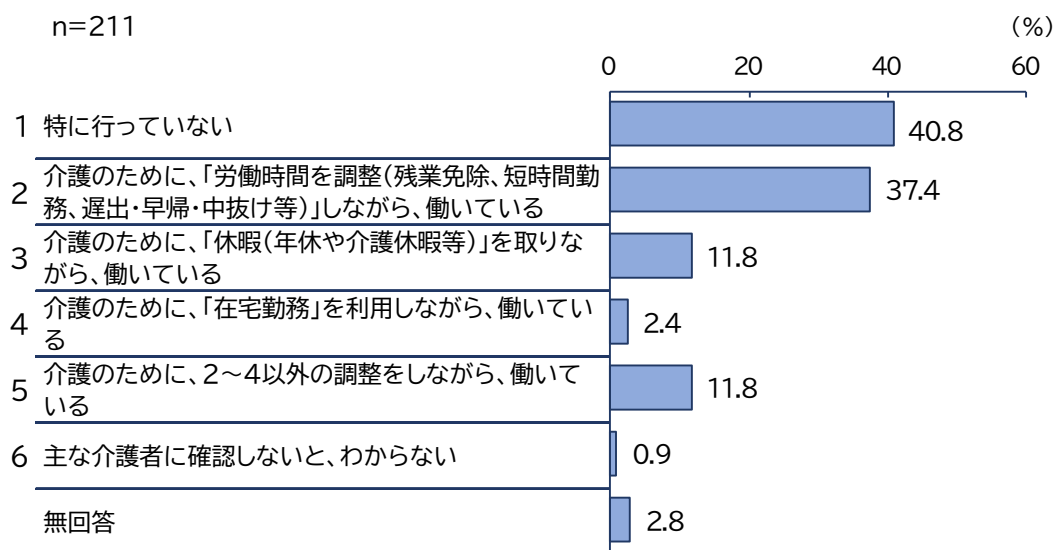
図 2-2-1 主な介護者の現在の勤務形態



(2) 主な介護者が行っている働き方の調整等

主な介護者が行っている働き方の調整等の割合をみると「特に行っていない」が40.8%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（37.4%）となっています。

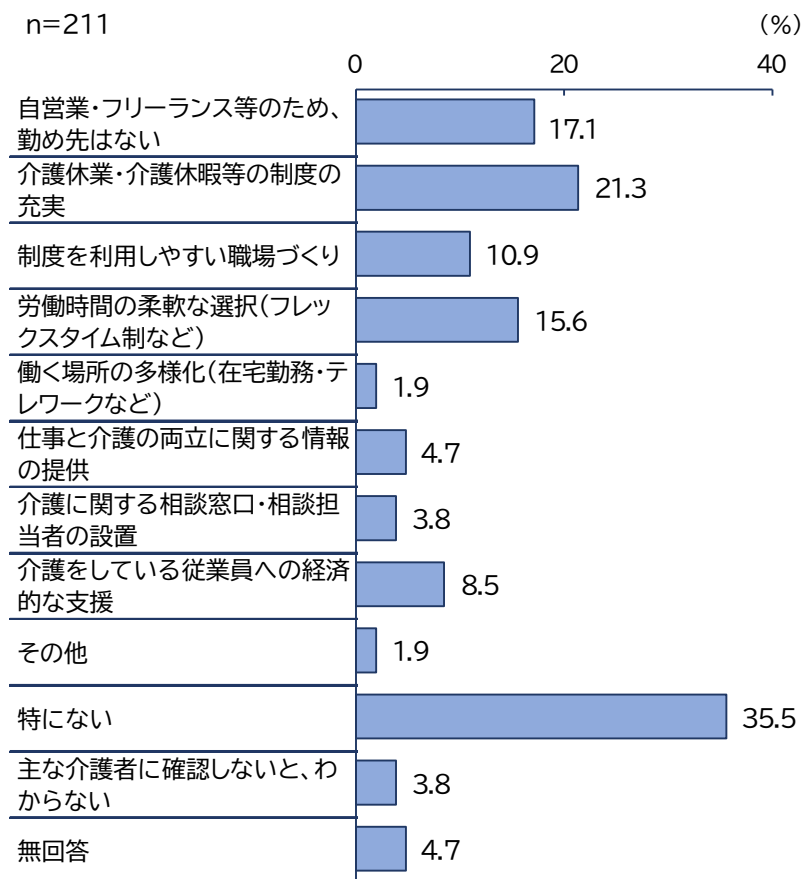
図 2-2-2 主な介護者が行っている働き方の調整等



(3) 仕事と介護の両立に効果があると思う支援

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援の割合をみると「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が21.3%と最も高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(17.1%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(15.6%)となっています。

図 2-2-3 仕事と介護の両立に効果があると思う支援

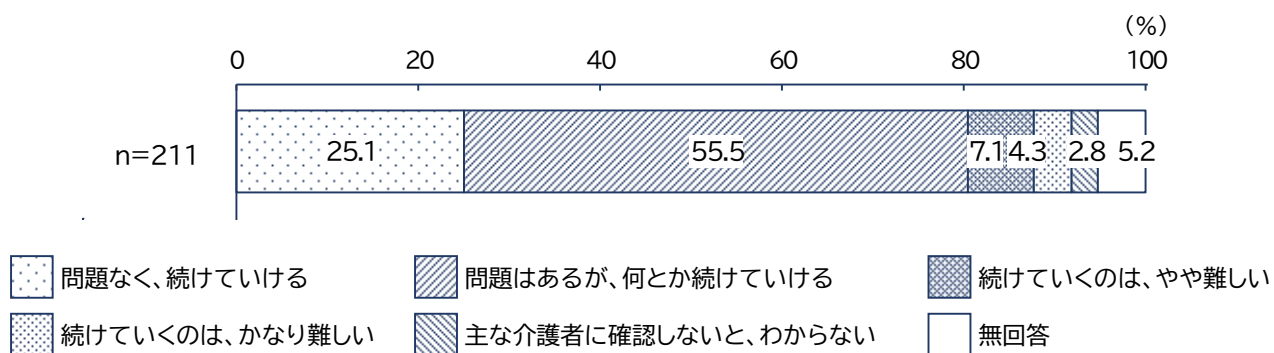


(4) 今後の就労継続見込み

今後の介護をしながらの就労継続見込みの割合をみると、「問題なく、続けていける」が25.1%、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.5%となっています。

また「続けていくのは、やや難しい」が7.1%、「続けていくのは、かなり難しい」が4.3%で、就労継続が困難と考える人は11.4%となっています。

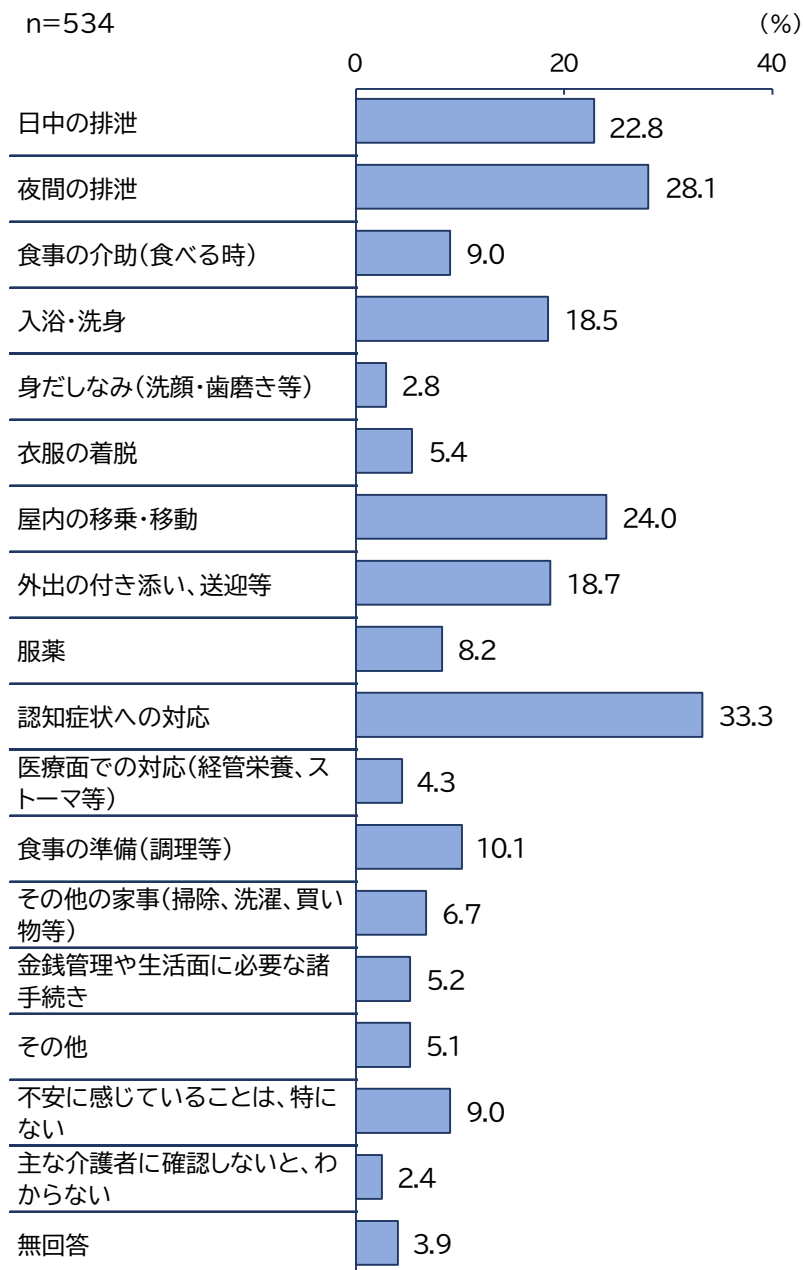
図 2-2-4 今後の就労継続見込み



(5) 主な介護者が不安に感じる介護等

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等の割合をみると「認知症状への対応」が33.3%と最も高く、次いで「夜間の排泄」(28.1%)、「屋内の移乗・移動」(24.0%)となっています。

図 2-2-5 主な介護者が不安に感じる介護等



第3章 調査から見える課題

1. 集計分析について

(1) 集計分析方法

集計分析については、国が提供する「在宅介護実態調査 自動集計分析ソフト」を活用しています。グラフは無回答を除いた割合で表示しています。

(2) 用語の定義

集計分析に用いる用語の定義は次のとおりです。

【サービス利用の分析に用いた用語の定義】

用語		定義
未利用		「住宅改修」「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方は、未利用として集計
訪問系		(介護予防)訪問介護、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計
通所系		(介護予防)通所介護、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計
短期系		(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計
その他	小規模多機能	(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計
	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計

【サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義】

用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計

【施設等の検討の状況に係る用語の定義】

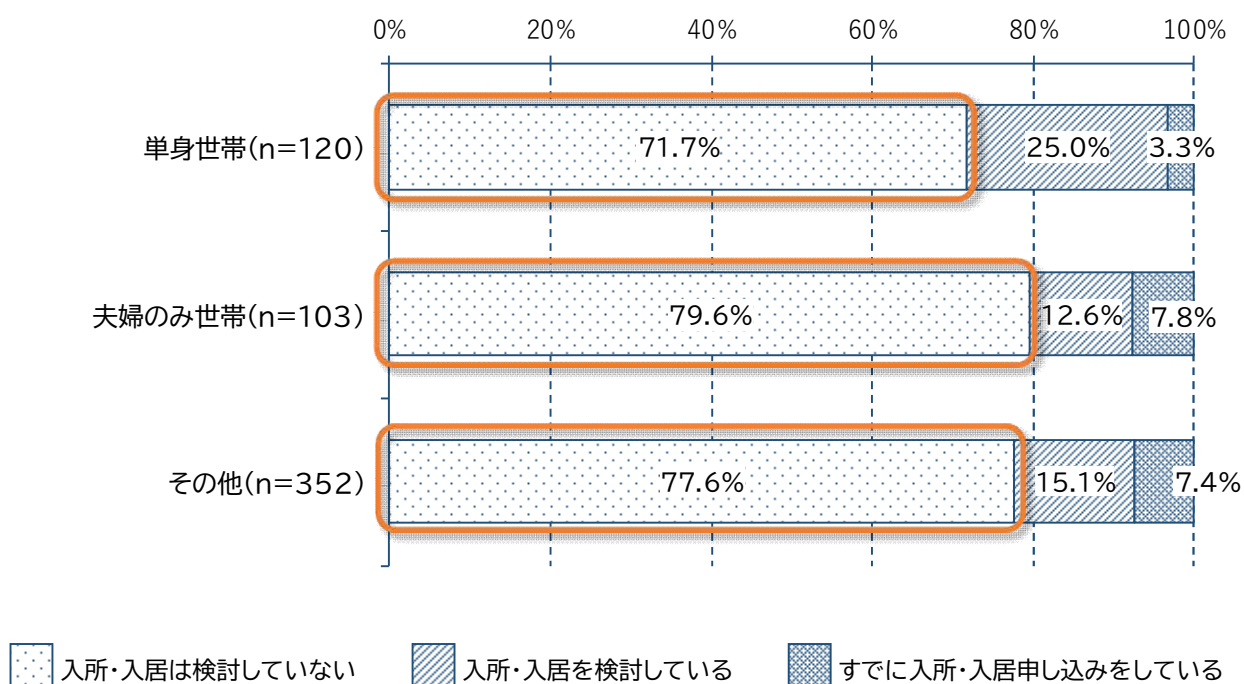
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等検討の状況について、「入所・入居は検討していない(検討していない)」、「入所・入居を検討している(検討中)」、「すでに入所・入居申し込みをしている(申請済み)」の3つに分類して集計 ● ここでの「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指すものであり、介護保険施設には限定していません。
--

2. 要介護者の在宅生活の継続について

(1) 世帯類型別・施設等検討

世帯類型別・施設等検討について、「単身世帯」で見ると、「入所・入居は検討していない」の割合は71.7%となっており、「夫婦のみ世帯」、「その他世帯」に比べ低くなっています。

図 3-2-1 世帯類型別・施設等検討

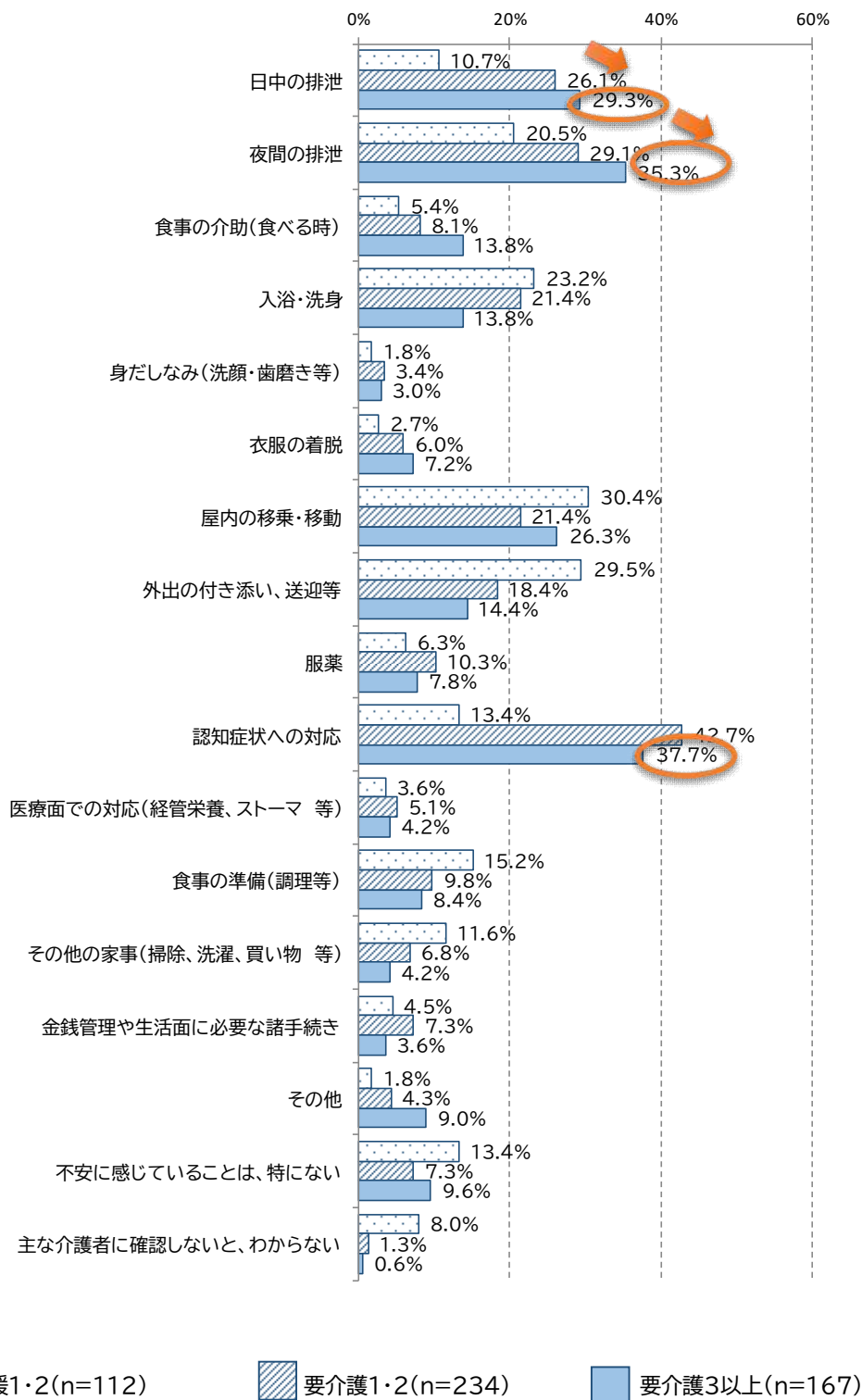


(2) 要介護度別の介護者が不安に感じる介護

要介護度別の介護者が不安に感じる介護について「要介護3以上」でみると「認知症状への対応」が37.7%と最も高く、次いで「夜間の排泄」(35.3%)、「日中の排泄」(29.3%)となっています。

「日中・夜間の排泄」においては重度化に伴い不安に感じる割合も高くなっています。

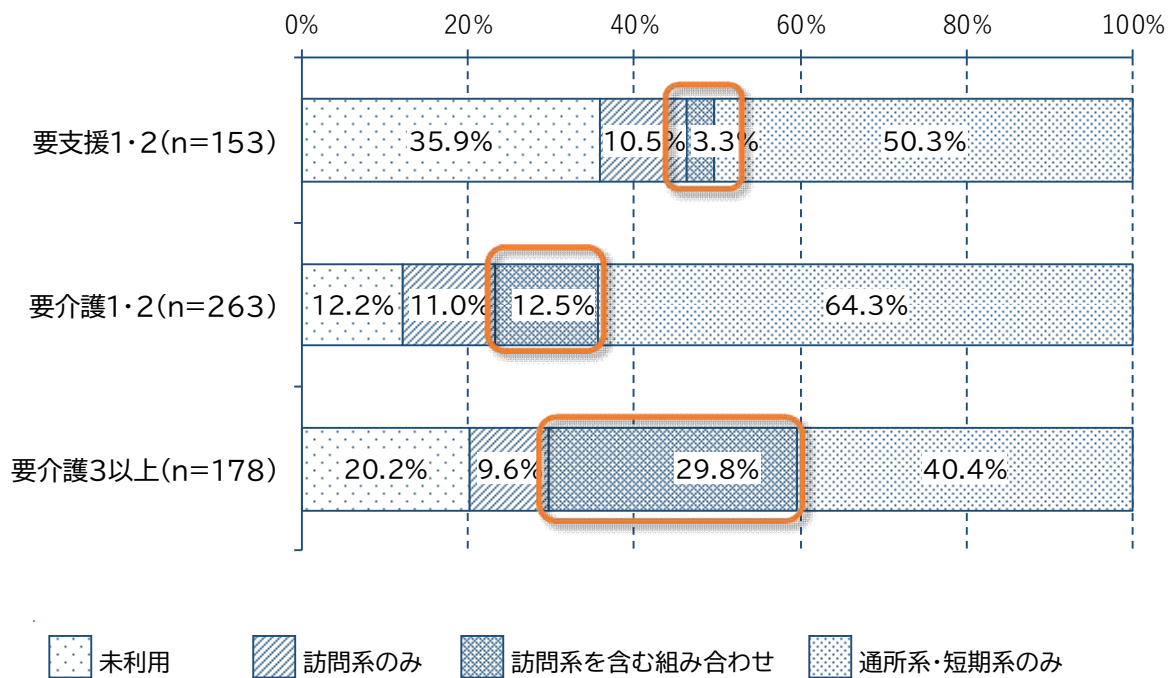
図 3-2-2 要介護度別の介護者が不安に感じる介護



(3) 要介護度別のサービス利用の組み合わせ

要介護度別のサービス利用の組み合わせをみると、重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。

図 3-2-3 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



(4) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

サービス利用の組み合わせ別・施設等検討の状況でみると、サービス利用の組み合わせが「訪問系のみ」の方は「入所・入居は検討していない」の割合が「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系」の方に比べ高くなっています。

また、施設等検討別のサービス利用の組み合わせでみると「入所・入居は検討していない」と回答した方は「訪問系のみ」と「訪問系を含む組み合わせ」の割合が「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答している方に比べ高くなっています。

図 3-2-4-1 サービス利用の組み合わせ別・施設検討の状況(要介護3以上)

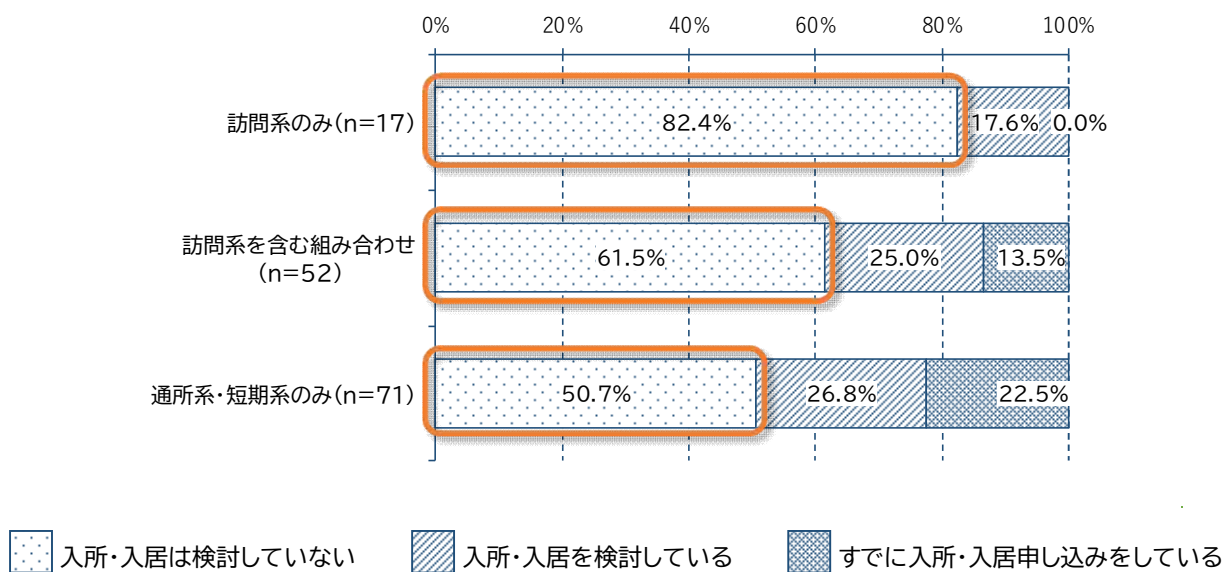
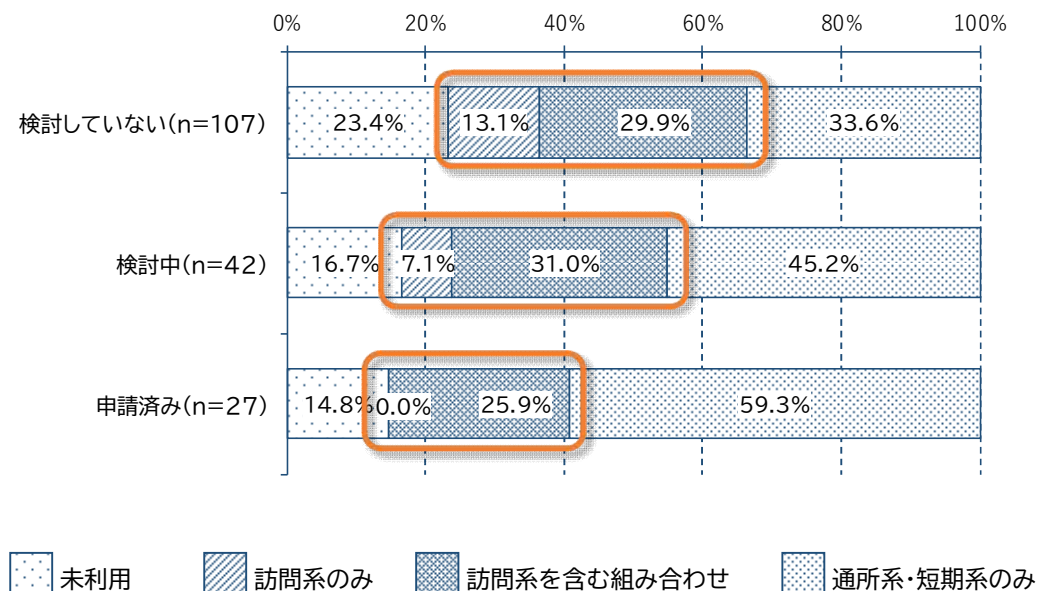


図 3-2-4-2 施設検討の状況別・サービス利用の組み合わせ(要介護3以上)

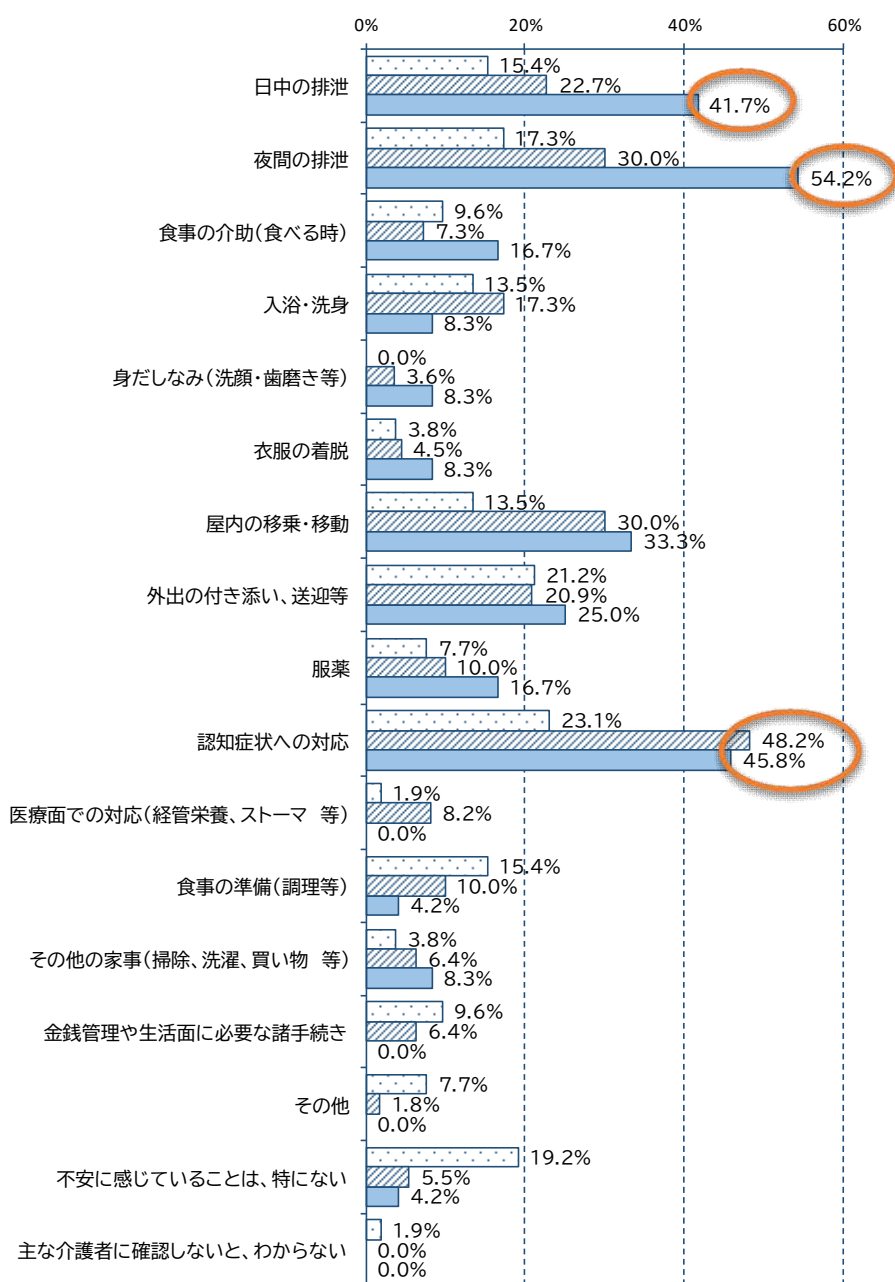


3. 介護者の就労継続について

(1) 就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護について、「続けていくのは、やや+かなり難しい」と回答されている方をみると「夜間の排泄」が54.2%と最も高く、次いで「認知症状への対応」（45.8%）、「日中の排泄」（41.7%）となっています。

図 3-3-1 就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護



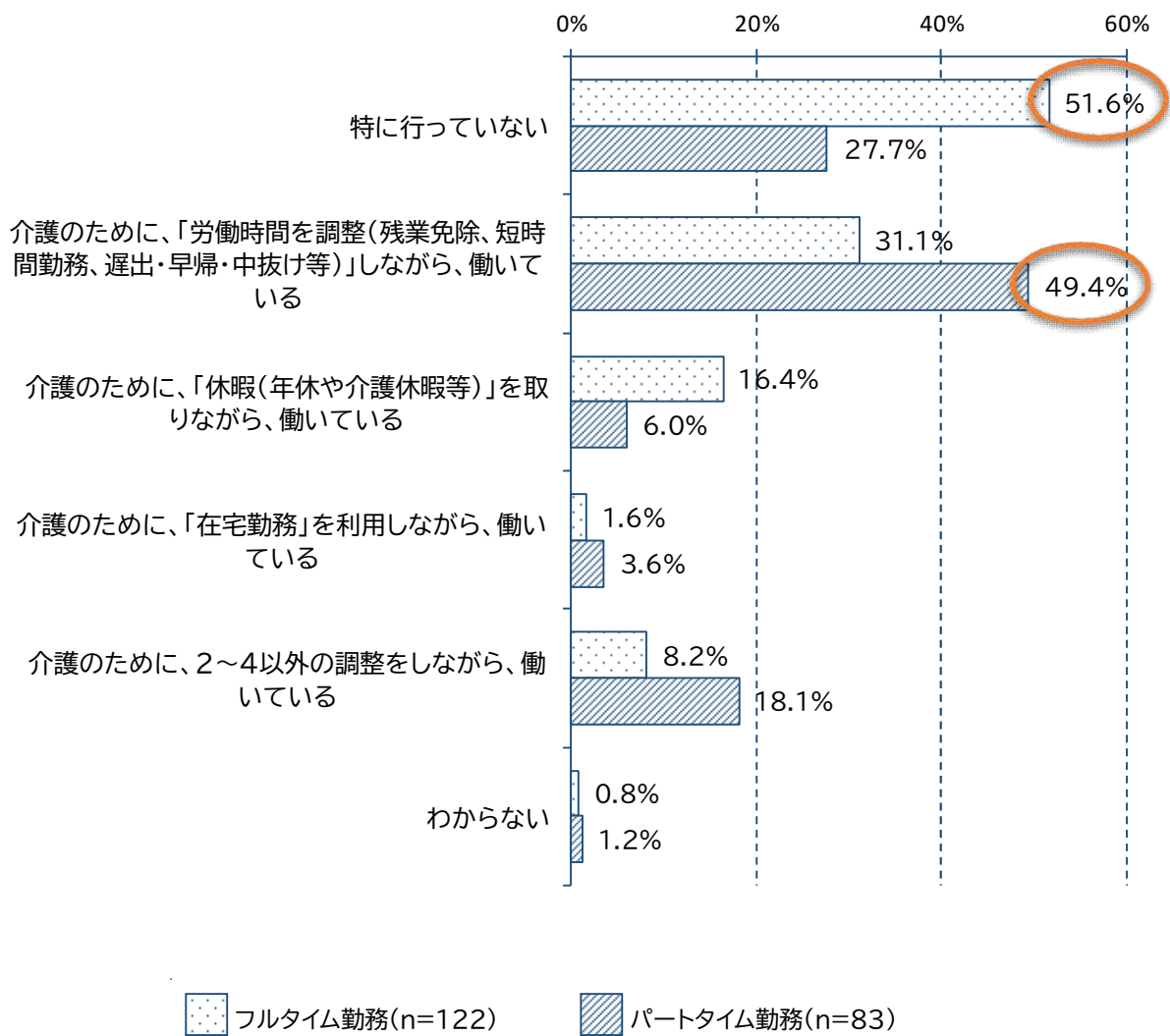
問題なく、続けていける (n=52)
 問題はあるが、何とか続けていける (n=110)

続けていくのは「やや+かなり難しい」(n=24)

(2) 就労状況別・介護のための働き方の調整

就労状況別・介護のための働き方の調整をみると、フルタイム勤務の方では働き方の調整を「特に行っていない」との回答が51.6%と最も高くなっているのに対し、パートタイム勤務の方は「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が49.4%と最も高くなっています。

図 3-3-2 就労状況別・介護のための働き方の調整

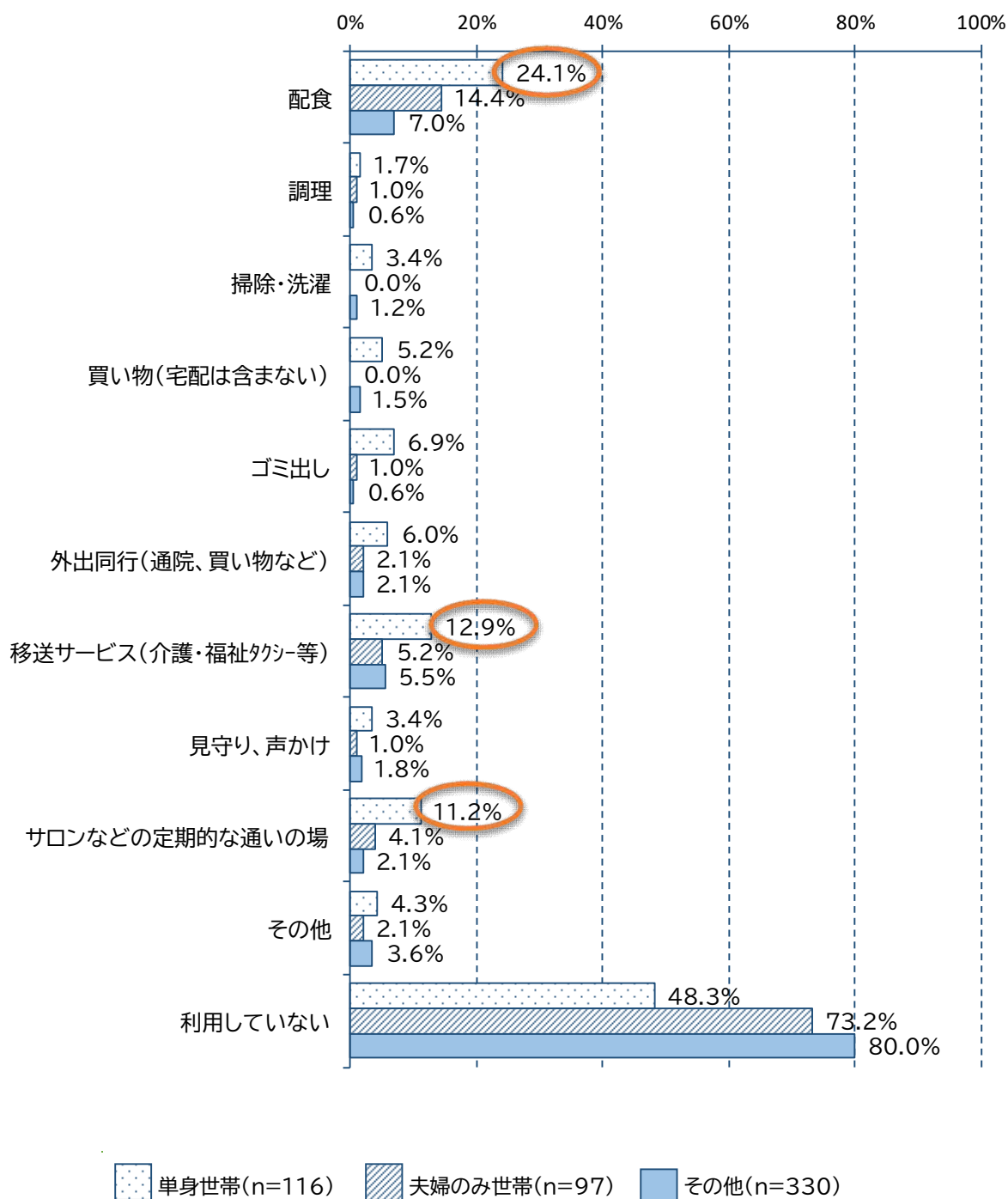


4. 保険外の支援・サービスについて

(1) 世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況

世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況について、「単身世帯」をみると「配食」が24.1%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（12.9%）、「サロンなどの定期的な通いの場」（11.2%）となっています。

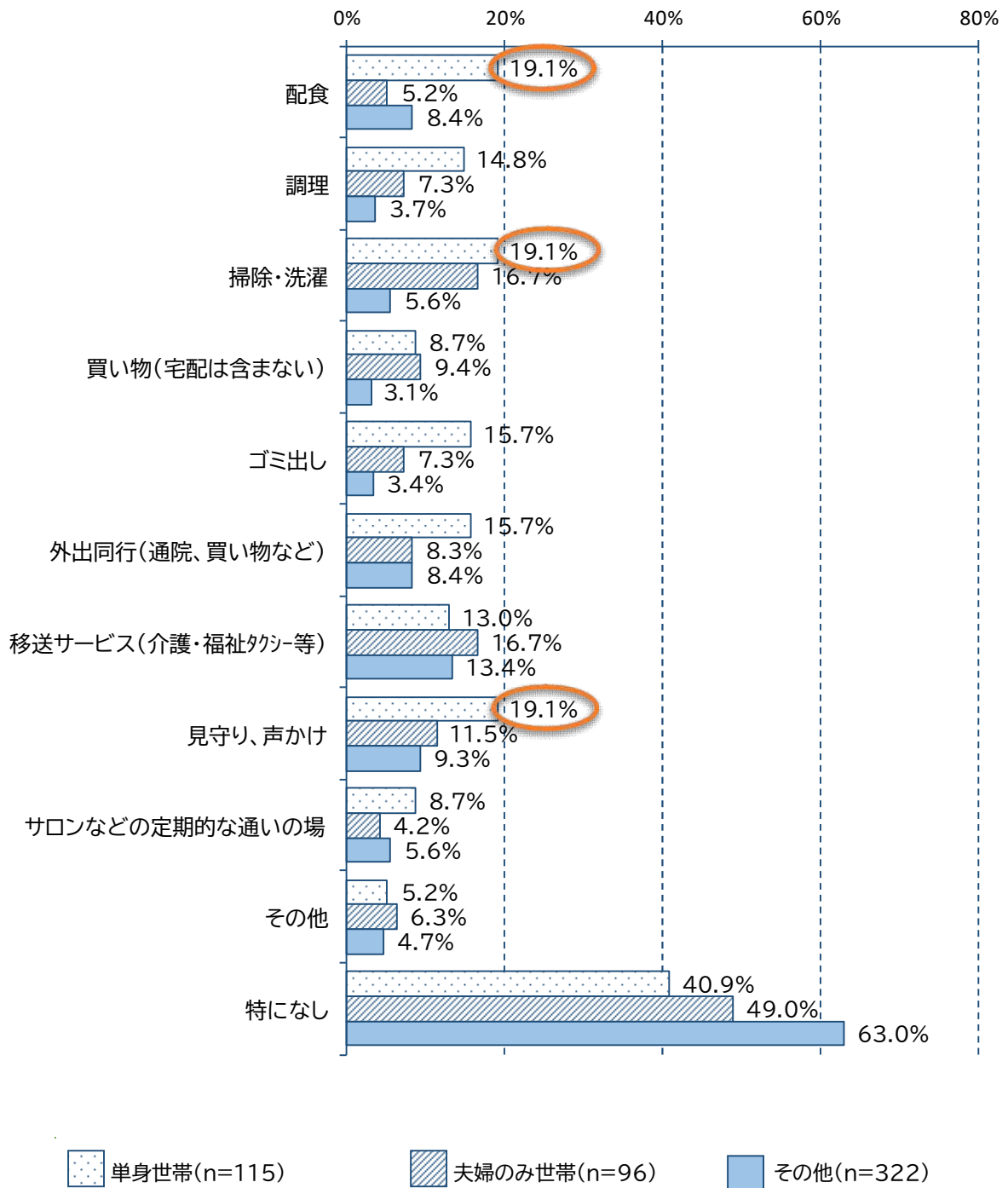
図 3-4-1 世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況



(2) 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「単身世帯」をみると「配食」「掃除・洗濯」「見守り・声かけ」が19.1%と高くなっています。

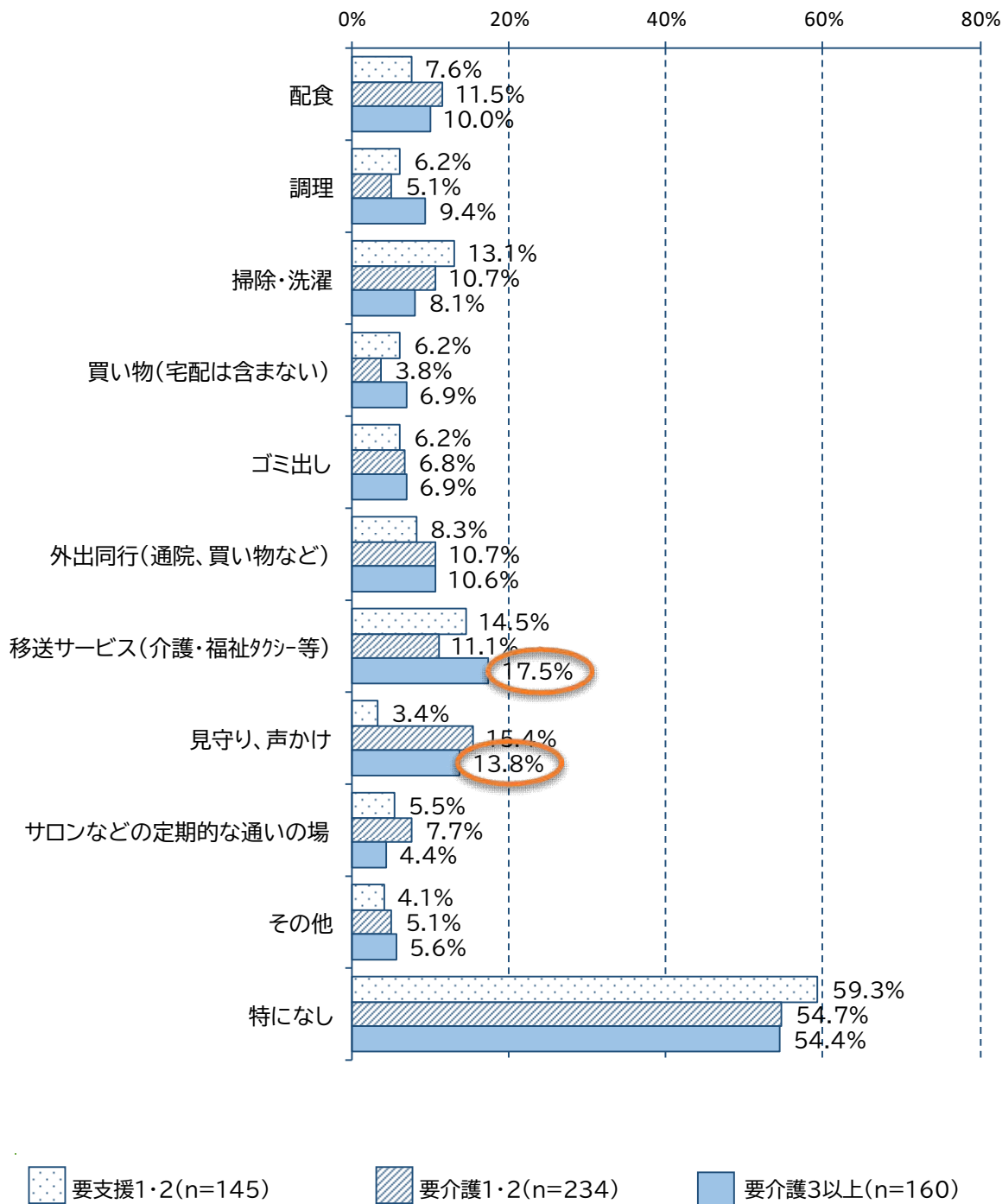
図 3-4-2 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(3) 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて「要介護3以上」でみると「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が17.5%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」(13.8%)となっています。

図 3-4-3 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

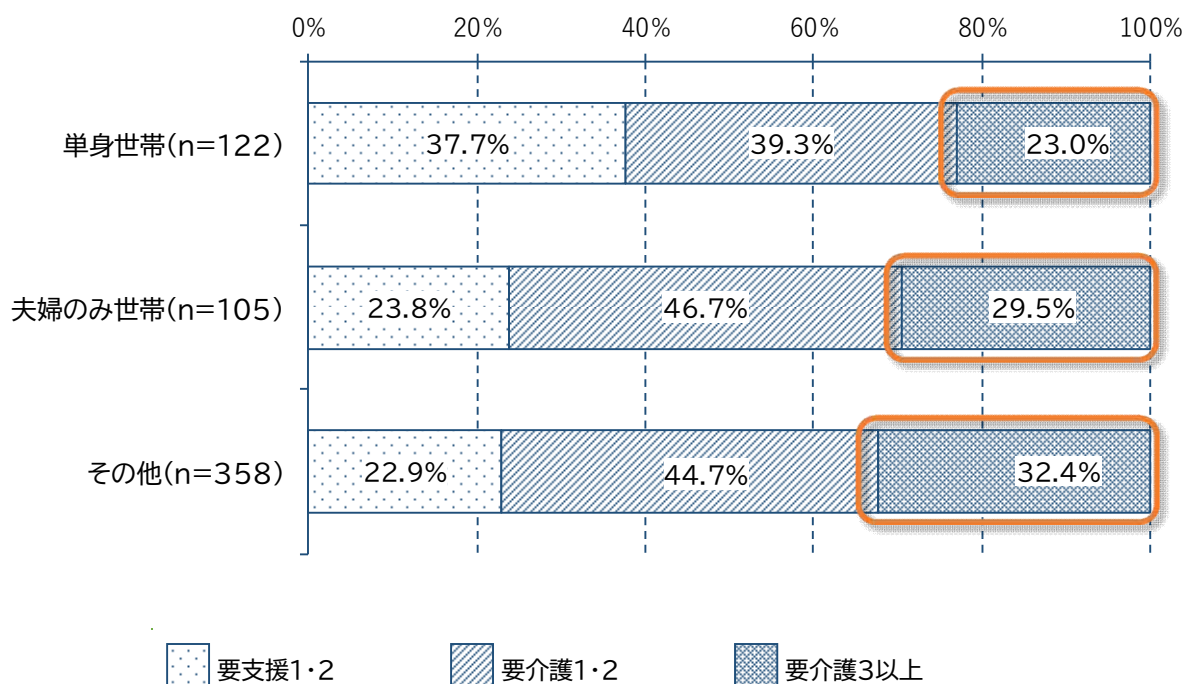


5. 世帯類型別の支援・サービスについて

(1) 世帯類型別・要介護度

世帯類型別・要介護度について「単身世帯」での「要介護3以上」の割合は23.0%と「夫婦のみ世帯」「その他世帯」に比べて低くなっています。

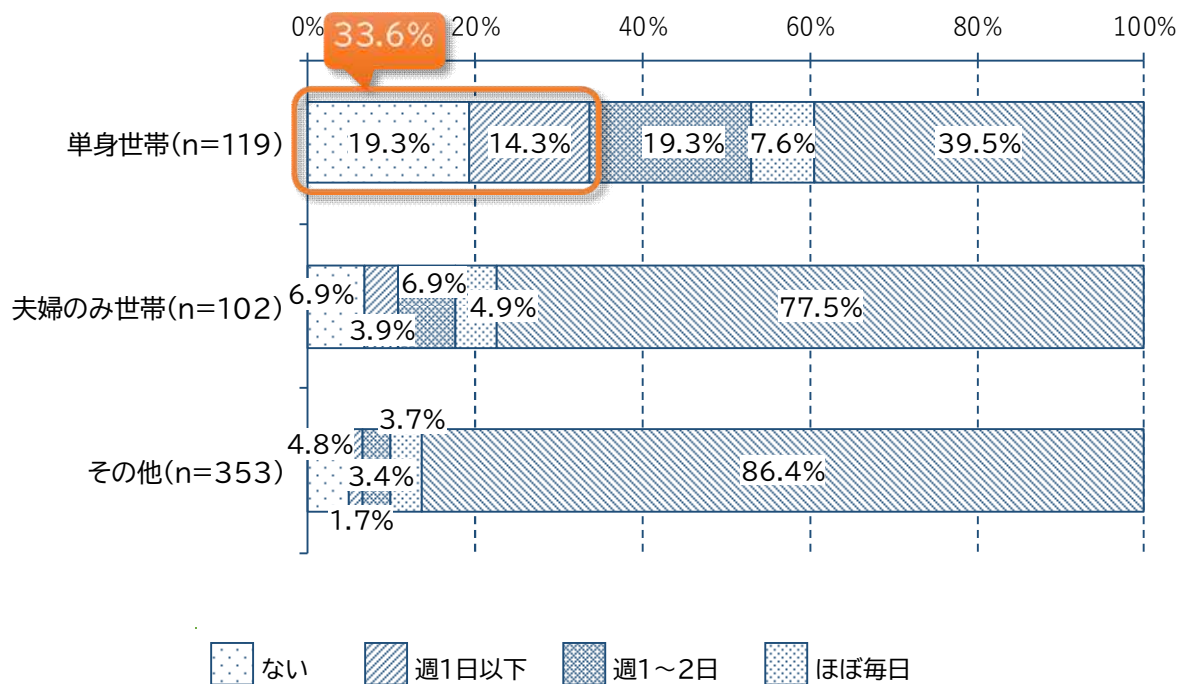
図 3-5-1 世帯類型別・要介護度



(2) 世帯類型別・家族等による介護の頻度

世帯類型別・家族等による介護の頻度について、「単身世帯」でみると、家族等による介護が「ない」が19.3%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が14.3%となっており、合わせると33.6%の方が家族等による介護が週1日未満となっています。

図 3-5-2 世帯類型別・家族等による介護の頻度

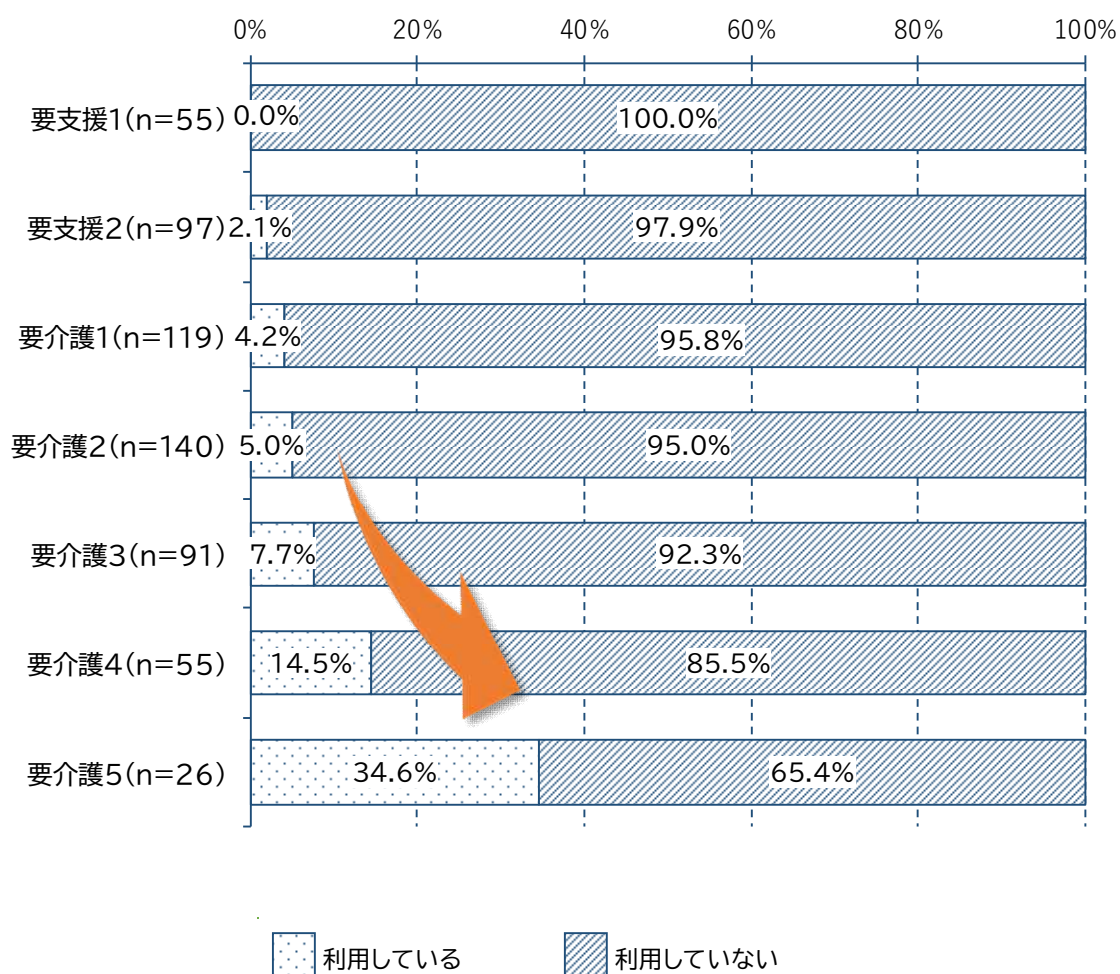


6. 訪問診療の利用状況

(1) 要介護度別・訪問診療の利用割合

要介護度別・訪問診療の利用割合をみると、重度化に伴い「利用している」の割合が高くなっています。

図 3-6-1 要介護別・訪問診療の利用割合



在宅介護実態調査報告書

発行月 令和2年6月

発行者 府中市

住 所 〒726-8601 府中市府川町315番地